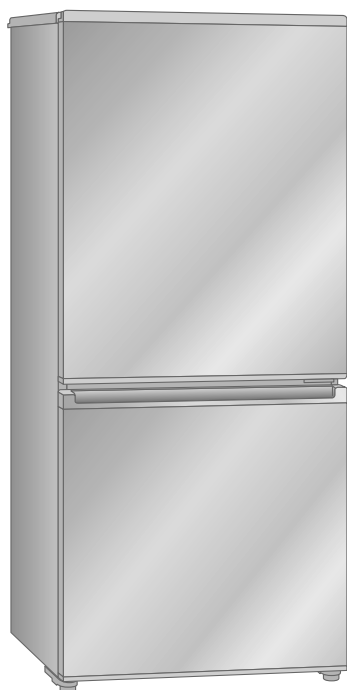


取扱説明書

AQUA

冷凍冷蔵庫

品番 AQR-17E8



もくじ

ご使用の前に	安全上のご注意……………	1~2
	据え付けから使用開始まで……………	3~4
使いかた	食品の貯蔵場所……………	4
	温度調節……………	4~5
	冷蔵室の使いかた……………	5~6
	冷凍室（フリーザー）の使いかた…	6
お手入れ	お手入れと付属品のはずしかた…	7
お困りのときは	こんなときには……………	8
	故障かな?と思ったら……………	8~9
	仕様……………	9~10
	保証とアフターサービス……………	10
相談窓口	お客さまご相談窓口……………	裏表紙

上手に使うって上手に節電

- このたびは、冷凍冷蔵庫をお買い上げいただき、ありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」はご使用前に必ずお読みください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保証書とともに大切に保管してください。

アクア 株式会社
<https://aqua-has.com/>



ご愛用者登録のお願い

下記のURLより愛用者登録とアンケートのご記入をお願い致します。

<https://aqua-has.com/support/reg/>





安全上のご注意・・・必ずお守りください




人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。



■誤った使いかたをしたときに生じる危険と損害の程度を区分して説明しています。

■図記号の意味は次のとおりです。

 警告	死亡や重傷を負うことが想定される内容です
---	----------------------

 注意	軽傷を負うことや物的損害の発生が想定される内容です
---	---------------------------

  	してはいけない内容です
--	-------------

 	実行しなければならない内容です
--	-----------------

警告

据え付けのとき



- 水のかかる所には冷蔵庫を設置しない
(絶縁が悪くなり、漏電の原因)



- 冷蔵庫の周囲はすき間をあけて据え付ける
→ 3 ページ参照
(冷媒が漏れると滞留し、発火・爆発の恐れ)
- 万一の地震に備えて、冷蔵庫を固定する
→ 3 ページ参照
(冷蔵庫が倒れるとけがの原因)



アースをする

- 湿気が多い所・水気のある所に冷蔵庫を据え付ける時にはアース・漏電遮断器を取り付ける
(故障や漏電の時に感電する恐れ)
アース・漏電遮断器の取り付けは販売店にご相談ください。

電源プラグ・電源コード



- 電源プラグはコードが下向きになるよう差し込む
(逆に差し込むとコードに無理がかかり、ショート・過熱し、感電・発火の原因)
- 電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行う
(電源コードを引っ張って抜くと、電源コードが破損し感電やショートして発火する恐れ)



ご使用のとき



- 冷蔵庫本体の冷却回路(配管)を傷付けない
(可燃性の冷媒を使用しているので、発火・爆発の恐れ)
- 可燃性スプレーは近くで使わない
(引火や、やけどの危険)
- 引火しやすいものは入れない
(エーテル、ベンジン、LPガス、アルコール、接着剤などは入れない。爆発する危険)
- 庫内では電気製品を使用しない
(冷媒が漏れていると電気製品の接点の火花で発火・爆発の恐れ)
- 扉にぶら下がらない、乗らない
(冷蔵庫が倒れたり、手をはさんで、けがの原因)
- 冷蔵庫に乗らない
(冷蔵庫が倒れてけがの原因)
- 上に水を入れた容器を置かない
(こぼれた水で絶縁が悪くなり漏電・火災の恐れ)
- 冷蔵庫本体や庫内に水をかけない
(ショートや感電の恐れ)
- 医薬品や学術試料の保存はしない
家庭用冷蔵庫では、温度管理の厳しいものは保存できません。



電源プラグ・電源コード





- 電源プラグを冷蔵庫で押し付けない
(変形や傷が付くと、感電・発熱し発火の原因)
- 電源コードを傷付けない
(踏み付けたり、加工したり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりすると、電源コードが破損して、火災や感電の原因)
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
(感電・ショート・発火の原因)
- 電源は交流100Vの専用コンセントを使う
(100V 以外では火災・感電の原因)
- コンセントは15A以上のものを単独で使う
(他の器具と併用したタコ足配線は発熱し発火の原因)
- 電源プラグは、ほこりを取り、刃の根元まで確実に差し込む
(発熱し発火の原因)





警告

お手入れのとき


-  ●電源プラグをぬれた手で抜き差ししない
(感電や、けがの原因)
-  ●お手入れのときは、電源プラグを抜く
(感電や、けがの原因)

修理・廃棄のとき

-  ●リサイクルの時など、保管時の幼児閉じ込み
が懸念される場合は扉パッキングをはずす
- 廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す
(放置し、冷媒が漏れると、引火・爆発の
恐れ)
-  ●分解したり、修理・改造は絶対にしない
(火災、感電、けがの原因)


分解禁止

もしものとき

-  ●異常や故障のときは、電源プラグを抜く
(火災・感電・けが・やけどの原因)
< 異常・故障の例 >
 - 電源コード、プラグが異常に熱い。
 - 電源コードに深い傷や変形がある。
 - 焦げくさいにおいがする。
 - 冷蔵庫床面にいつも水が溜まっている。
 - ビリビリと電気を感じる。お買い上げの販売店へご連絡ください
- 冷却回路(配管)を傷付けたときや可燃性
ガスが漏れているのに気付いたときは、冷
蔵庫やコンセントにふれず火気の使用を避
け窓を開けて換気する
(電源プラグの抜き差しなどの火花で引火
爆発し、火災ややけどの危険)
- ガス漏れに気付いたら、ガスの元栓を閉め、
窓を開けて換気する
(冷蔵庫の扉を開けたり、電源プラグを抜
くと、電気接点の火花等で引火爆発し、火
災や、やけどの危険)




注意

ご使用のとき



-  ●食品を棚より前に出さない
- 背の高い倒れやすい食品は入れない
- 扉ポケットの底まで入らない食品は入れない
(扉が閉まらなくなったり、食品が落下し、
けがの原因)

注意


ご使用のとき

-  ●冷凍室にビン類や缶類を入れない
(中身が凍って割れ、けがの原因)
- におったり、変色した食品は食べない
(腐敗により、病気の原因)
-  ●ガラストレイの取り付け、取りはずしは確実
にする
(ガラストレイが落下すると割れたり、ぶつ
かってけがの原因)
-  ●冷凍室内の食品や容器(特に金属製)に
ぬれた手でさわらない
(凍傷になる恐れ)
- 冷蔵庫の底面には手や足を入れない
(鉄板により、けがの原因)
- 後ろ側下部の機械部分(圧縮機など)に手
をふれない
(運転中は熱くなるので、やけどの恐れ。
鉄板により、けがの原因)


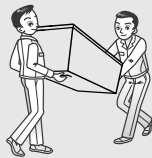

扉を開け閉めするときは

-  ●扉を強く開け閉めしない
(食品の落下により、けがをする恐れ)
- 最下段の引き出し扉に足を近づけすぎない
(指をはさむなど、けがをする恐れ)
- 他の人が冷蔵庫に触れているときは、扉を
開け閉めしない
-  ●扉を閉めるときは、とっ手を持って閉める
(扉の上側を持って閉めると、指をはさみ
けがの原因)

長期間使用しないとき

-  ●電源プラグをコンセントから抜く
(絶縁劣化などにより、感電や漏電・火災
の原因)

設置・移動・運搬のとき

-  ●床が丈夫で水平なところに調整脚でしっか
り固定する
(冷蔵庫が移動したり、倒れたりしてけが
の恐れ)
- 下部前脚と背面上部を確実に持って運搬する
(手がすべって、けがの原因)
- 
-  ●移動するときは保護用の板などを敷く
(床材を傷付ける恐れ)

据え付けから使用開始まで

1. 据え付ける

次のような場所に据え付ける

■ 熱気・直射日光の当たらないところ

冷却力低下を防ぎ、電気代のムダをなくするため、コンロの横は避ける。

■ 湿気が少なく、風通しの良いところ

錆の発生や漏電を防ぎます。

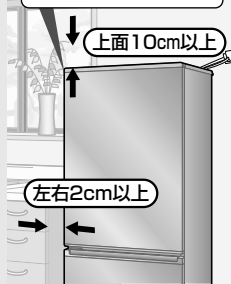
■ 放熱スペースを確保できる場所

※ 壁際で、冷蔵室扉が開かない場合は、扉から2cm以上あけてください。

※ 背面は壁につけられます。冷蔵庫が壁にふれて振動音がしたり、壁材が黒く変色する（圧縮機周辺の空気の対流が原因です）場合は、冷蔵庫を壁から離してください。

※ 消費電力量測定時の寸法とは異なります。

冷蔵庫の上にオープンや電子レンジを置く場合は、その設置条件にも従ってください。



■ 丈夫で水平な床

振動・騒音や故障の原因になります。

※ じゅうたん、畳、塩化ビニール製の床材などは、冷蔵庫の熱により変色することがあります。底に丈夫な板を敷いてください。

警告

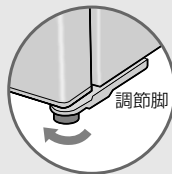
水のかかる所には冷蔵庫を設置しない。絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

2. 固定する

1 水平に固定する

両側の調節脚を回し必ず床に着け、水平に設置する。調節脚（左右）は矢印の方向に回すと前上がりになります。

※ 調節脚が床から浮いていると運転音が大きくなったり、振動が大きくなる原因となります。



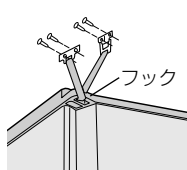
2 扉平行度を調節する

扉の左が下がっている場合、右の調節脚を矢印方向へ回すと微調整できます。



警告

転倒防止用のベルトをかける背面のフックにベルトを通して、壁や柱に固定する。
地震などで冷蔵庫が倒れると、けがの原因になります。
転倒防止用ベルト（別売品）は、お買い上げ販売店で型番2FB 01327 001 00をお求めください。



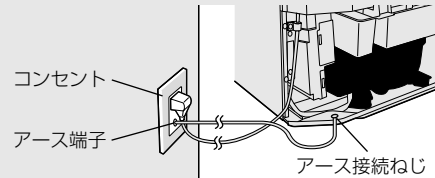
3. アースをする

万一の感電事故防止のため、アース（接地）をおすすめします。

1 アース線（別売）を、背面下部にあるアース接続ねじに接続する

2 アース端子をコンセントに差し込む

※ コンセントにアース端子が付いていないときは、お買い上げの販売店に依頼し、アース工事（D種接地工事）をしてください。（アース工事は有料です）



アース線を接続してはいけないところ

- 水道管
- ガス管（爆発の危険があります）
- 電話のアース線や避雷針（落雷のとき大きな電流が流れ、危険です）

警告

土間や洗い場、地下室など、湿気・水気が多い場所に据え付ける時には、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。お買い上げの販売店にご相談ください。（アース工事・漏電遮断器の設置は有料です）

4. 使用開始

1 付属品を確認する

（10 ページ参照）

2 庫内を清掃する

柔らかい布で庫内を清掃する。（使い始めにプラスチックからのおいがする場合があります。念のため、においがこもらない様に扉を開けて周囲の風通しを良くしてください。においはしだいに消えます）

3 コンセントに接続する

電源は100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する。根元まで確実に差し込む。



4 十分冷えてから食品を入れる

夏場など周囲温度の高いときは、冷えるまで24時間以上かかることもあります。冷えるまでは扉の開閉を控えてください。

お願い

- 腐食性ガスが発生しやすい温泉地や工業地帯、塩分の多い海岸地帯など錆びやすい場所に設置すると、配管パイプが腐食して冷えなくなることがあります。このような場所に設置する場合は、防せい処理をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 冷蔵庫の据え付け状況により、電話機・インターホン・ラジオ・テレビなどに雑音が入ったり、映像が乱れることがあります。このようなときは、冷蔵庫からできるだけ離してください。また、冷蔵庫をアース（接地）することをおすすめします。冷蔵庫の影響を受ける距離は、電波や設置の状態により異なります。

ノンフロン冷蔵庫について

- この冷蔵庫にはノンフロン冷媒とノンフロン発泡断熱材を使用しています。ノンフロン冷媒（イソブタン）とノンフロン発泡断熱材（シクロペンタン）は、オゾン層を破壊せず地球温暖化に対する影響が極めて小さい、地球環境に配慮した物質です。
- ノンフロン冷媒は可燃性です。「冷却回路」に密封されており、通常のご使用において漏れ出すことはありませんが、万一、冷媒回路を誤って傷付けてしまった場合、火気（電気製品）などの使用を避け、窓を開けて換気してください。その後、お買い上げの販売店へご連絡ください。

食品の貯蔵場所

冷蔵室（約3～5℃）、 冷蔵室扉（約5～7℃）

調理済み食品・冷蔵小物・調味料・牛乳・
ビール・ジュースなど
（上段は、それぞれ1～2℃高めになります）

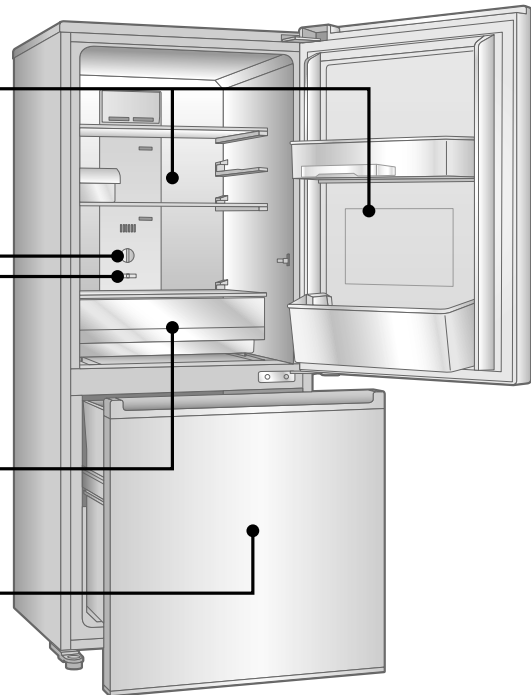
温度調節つまみ （上側：冷蔵室、下側：フリーザー）

フリーケース

刺身・鮮魚・肉・飲料など

冷凍室（約-18℃）

冷凍食品・アイスクリーム・ホームフリージングした食品など



測定条件

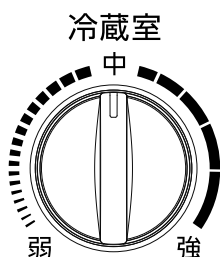
・・・周囲温度30℃、食品を入れずに扉を閉じ、庫内温度が安定したときの値です。

温度調節

表中の温度は、周囲温度30℃、食品を入れずに扉を閉じ、庫内温度が安定したときの値です。
扉の開閉、食品の入れ具合によって変わります。

冷蔵室の温度調節

通常は、「中」の位置でお使いください。



つまみ	使いかた	冷蔵室温度
強	強く冷やしたいとき 夏期など、周囲温度が高いとき	「中」より2～3℃低くなります。
中	通常するとき	約3～5℃
弱	あまり冷やす必要のないとき 冷えすぎるとき	「中」より2～3℃高くなります。

（表の温度は冷凍室温度調節「中」のときです）

- 夏期に「強」にしても冷えが弱いとき、または、早く冷やしたいときは、冷凍室の温度調節を設定位置より弱めにします。冷気が冷蔵室へより多く送られます。（冷凍室の温度調節を「弱」のまま長時間お使いになると冷凍室の冷凍食品がゆるむことがあります）

温度調節

冷凍室の温度調節

通常は、「中」の位置でお使いください。



つまみ	使いかた	冷凍室温度
強 (冬期)	冬期、冷凍室の冷えが弱いとき 強く冷やしたいとき ホームフリージングするとき (フリージングが終わったら、 もとに戻してください)	「中」より2~3℃低くなります。
中	通常するとき	約-18℃
弱	あまり冷やす必要のないとき	「中」より2~3℃高くなります。

(表の温度は冷蔵室温度調節「中」のときです)

■冬期に「強(冬期)」にしても、冷えが弱い(アイスクリームがゆるむ)ことがあります。このときは、冷蔵室の温度調節を設定位置より強めにします。(全体的に冷却が強まり、冷凍室も冷えます)

庫内温度の計りかた

冷蔵庫は、JISに基づいて厳重な品質管理の下で生産していますが、庫内の温度は、冷蔵庫の据え付け状態や外気温、使用条件などにより変化します。しかし、中の食品は8割前後が水分であるため、比熱が大きく、その温度は空気のように大きく変化はしません。なお、一般のアルコール温度計で冷蔵庫内の食品相当温度を計る場合は、冷蔵庫中段の棚の中央に約100ccの水を入れた容器を置き、感温部を水中に3時間程度浸しておきますと、食品に近い温度が得られます。

冷蔵室の使いかた

温度調節 / 冷蔵室の使いかた

ガラストレイ (3枚)

食品の高さに合わせて調整できます

プラスチック製です
※耐熱温度100℃。荷重30kgまで
※オープンや電子レンジなどを置けます

テーブル

卵皿

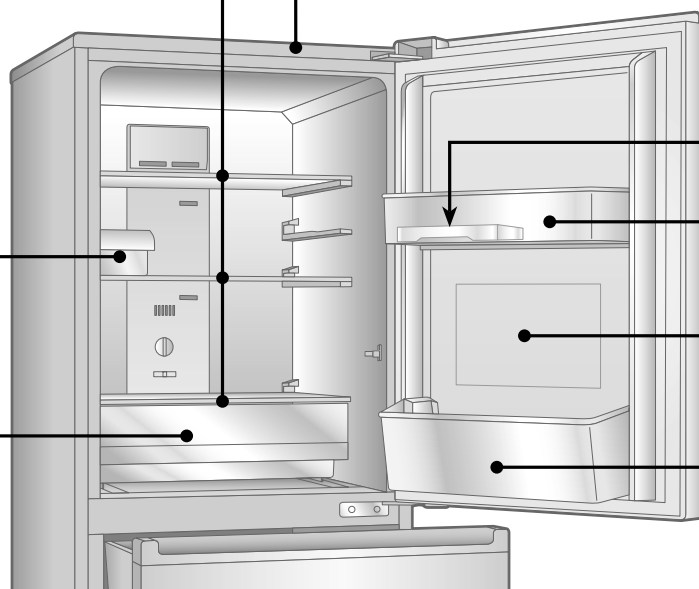
フリーポケット

品質表示ラベル

ボトルポケット

小物ケース

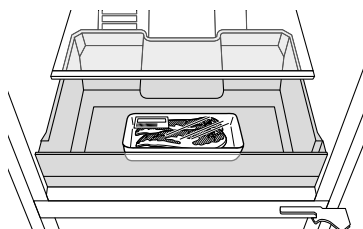
フリーケース



※食品収納スペースの目安(9ページ)は小物ケース、卵皿を取りはずして算出しています。

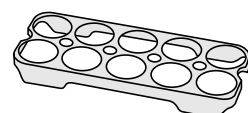
フリーケースの使いかた

缶ジュースや缶ビール等を収納するとボトルポケットよりもよく冷えます。
※野菜など水気の多い食品を入れると凍結することがあります。
フリーケースに入れしないでください。



卵皿

卵皿は10個入りのパックがそのまま収納できます。裏返すと小物が入ります。



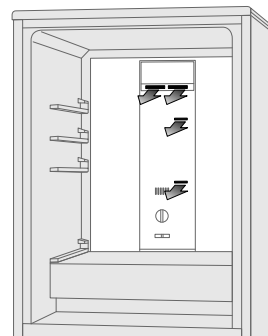
冷蔵室の使いかた

注意

食品をつめすぎたり、棚より前に出さない。背の高い倒れやすい食品は入れない。扉が閉まらなくなったり、食品が落下して、けがの原因になります。

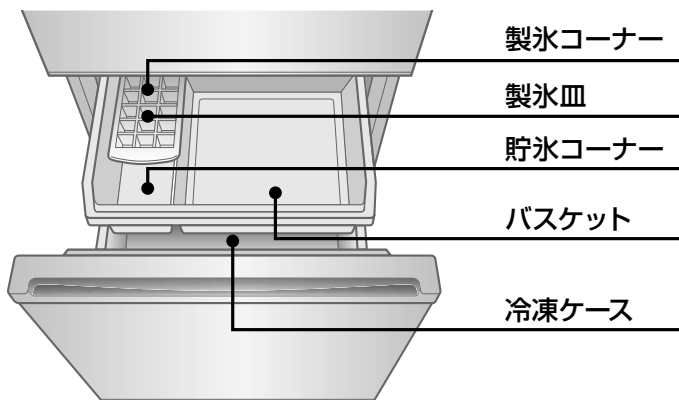
お願い

- 冷気吹出口から右図のように冷気が流れ出ます。吹出口付近では食品が凍結することがありますので、吹出口から離して貯蔵してください。
- 扉ポケットの上段（フリーポケット）に、背の高い食品を入れないでください。扉の開閉で倒れることがあります。
- におい移りや乾燥を防ぐため、においの強い食品、水気の多い食品はラップをして貯蔵してください。
- 冷蔵室の食品が凍結していたら下記を確認ください。
 - ・ 温度調節つまみが「強」⇒「中」に戻す
 - ・ ガラストレイの奥に、豆腐などの水気の多い食品を置いている⇒トレイの手前に入れ替える
 - ・ 周辺温度が5℃以下⇒冷蔵室温度調節つまみを「弱」側にする（凍りにくくなります）



冷蔵室冷気吹出口図

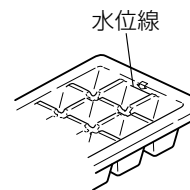
冷凍室（フリーザー）の使いかた



氷のつくりかた

<氷をつくる時>

- 1 製氷皿に水を入れる
水位線まで
- 2 製氷皿を、冷凍室に置く



<氷を取り出す時>

- 1 製氷皿の両端を持って、軽くひねる
- 2 できた氷を、貯氷コーナーで保存する



バスケットを押しこんでから冷凍室扉を閉めてください。

- ※ 説明用の絵です。実際には絵のように引き出せません。
- ※ 冷凍ケースの引き出しレールには、アイボリー色の材料を使っています。
- ※ 食品収納スペースの目安（9ページ）は製氷皿を取りはずして算出しています。

注意

冷凍室にビン類や缶類を入れない。中身が凍って割れ、けがの原因になります。

冷凍室内の食品や容器（特に金属製）に、ぬれた手でさわらない。凍傷になる恐れがあります。

お願い

- 水を製氷皿の水位線より多く入れないでください。氷が離れにくくなります。
- バスケットや冷凍ケースなどに直接水を入れて製氷しないでください。割れることがあります。
- 氷を長期保存すると、小さくなったり、くっつくことがあります。

冷凍室（フリーザー）の性能

この冷蔵庫の冷凍室の性能は、**※*****（フォースター）です。

冷凍室の性能は、日本工業規格（JIS C 9607:2015）に定められた方法で試験したときの、冷凍室内の冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しています。

■冷凍食品の貯蔵期間

冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類、店頭での貯蔵状態、冷蔵庫の使用条件などによって異なり、右の表の期間は一応の目安です。

記号	※*** フォースター
冷凍負荷温度（食品温度）	-18℃以下
冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3カ月

冷蔵室の使いかた / 冷凍室（フリーザー）の使いかた

お手入れと付属品のはずしかた

清潔にお使いいただくため、月に1度はお手入れ(清掃)してください。

警告

お手入れ(清掃)するときは、電源プラグを抜く。また、ぬれた手でプラグを抜き差ししない。感電やけがの原因になります。

冷蔵庫に直接水をかけない。錆びたり、漏電や故障の原因になります。

注意

冷蔵庫の底面に手を入れない。金属の角などにぶつけ、けがの原因になります。

庫内

貯蔵食品を取り出す。水を含ませた布で、上面、側面、下側へと汚れをふき、からぶきする。プラスチック部品に付いた食用油、バターなどの油脂類は、必ずふき取る。付いたままでは、割れることがあります。

扉パッキング

- 軽い汚れはからぶきをする。
- 落ちにくい汚れは

- 1 薄めた食器洗い用中性洗剤を布に含ませ、汚れをふき取る。(原液を使用すると、プラスチックが割れることがあります。洗剤の薄めかたは、その注意書に従ってください)
- 2 食器洗い用中性洗剤使用後は、必ず布に水を含ませ、洗剤をふき取る。
- 3 からぶきをし、水気をふき取る。

扉パッキングにジュースや食品の汁が付くと、べト付き、傷みやすくなります。下側のパッキングが、特に汚れやすいので、念入りに清掃を。

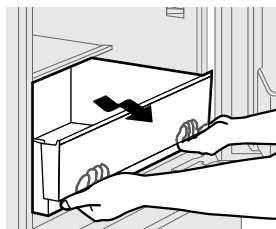
フリーケース

汚れをふき取るか、取り出して水洗いをする。

<取りはずしかた>

ストップするまで引き出し、手前を持ち上げながら全体を浮かせて引き出す。

※取り付けるときは、フリーケースの底にあるレールを、中仕切りの溝に合わせてください。

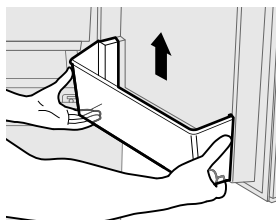


冷蔵庫ポケット類

汚れをふき取るか、取りはずして水洗いする。

<取りはずしかた>

両手で持って、上方に突き上げて、はずす。

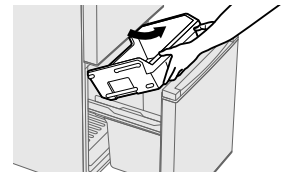


冷凍ケース

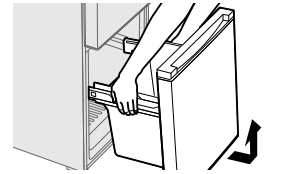
汚れをふき取るか、取りはずして水洗いする。

<取りはずしかた>

1 扉をストップするまで、手前に引き出し、バスケットを斜め上に取り出す。

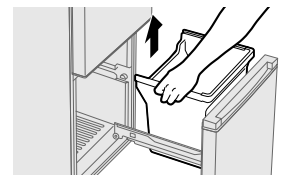


2 左右のレールを持って、手前を持ち上げながら、ケースごと取り出す。



3 扉ははずした後、ケースを持ち上げてははずす。

※冷凍ケースの引き出しレールには、アイボリー色の材料を使っています。
※バスケットを押しこんでから冷凍室扉を閉めてください。



冷蔵庫背面/床/壁(年1回程度)

傷付きやすい床の場合は、保護のため板などを敷いて、冷蔵庫を静かに前に引き出す。掃除機などで背面、床、壁の汚れやほこりを掃除する。
※背面、床、壁は空気の対流により、ほこりが溜まったり、黒く汚れやすいところです。



温度調節部

柔らかい布でからぶきする。水をかけないでください。故障の原因になります。お手入れ後は温度設定位置などが動いていないか確認する。

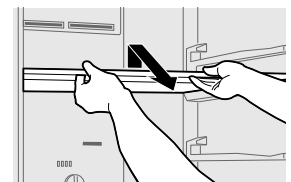
ガラストレイ

汚れをふき取るか、取りはずして水洗いする。

<取りはずしかた>

トレイの手前を少し持ち上げ、爪を浮かせてそのまま静かに引き出す。
※重たいので落とさないように注意してください。

※取り付けるときは、トレイ手前の爪がかかるまで差し込んでください。



お手入れ後の安全点検

- 電源プラグをコンセントにしっかり差し込みましたか?
- 電源コードにきれつや、すり傷はありませんか?
- 電源プラグに異常な発熱がありませんか?
・・・電源コード・プラグの傷つきや、ほこりが溜まっていると、感電や火災の原因になります。もし、不審な点があれば、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お願い

■みがき粉(クレンザー)・粉石けん・アルカリ性洗剤・タワシ・ベンジン・シンナー・アルコール・石油・酸・熱湯などは、塗装面や扉パッキングを傷めたり、プラスチックが割れたりしますので、使用しないでください。化学ぞうきんを使用するときは、強くこすらないで、化学ぞうきんの注意書に従ってください。

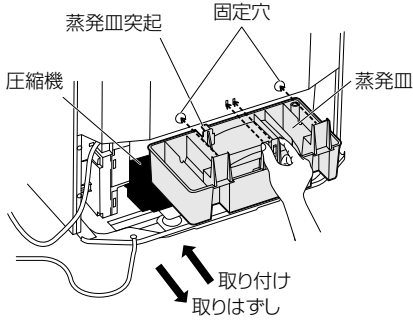
こんなときには

移動・運搬をするとき (必ず電源プラグを抜いてください)

- 1 庫内の食品を取り出し、電源プラグを抜いて庫内を清掃し、扉を開け乾燥させる。
- 2 背面下部にある蒸発皿を取りはずして、水を捨てる。
※取りはずした蒸発皿は、必ず取り付けてください。

<取りはずしかた>

図の部分をつまみながら手前に引き、全体を引き出す。

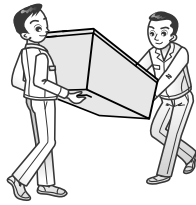


<取り付けかた>

蒸発皿の突起を、左右の固定穴に合わせて押し込み、中央部のツメも確実に挿入する。
(蒸発皿は確実に挿入してください。挿入が悪いと、ビビリ音が出ます)

- 3 必ず下部前脚と背面上部を持って運搬する。
(手がすべって、けがの原因になります)

※転宅などで運搬するときは、横積みしない。故障の原因になります。
※この冷蔵庫は50/60Hz (ヘルツ) 共用です。



電源プラグを抜いて再び差し込むとき

7分以上、間をおいてください。すぐに差し込むと、圧縮機に無理がかかり、故障の原因になります。

停電のとき

庫内温度が上がらないように、扉の開閉をひかえ、食品を新たに貯蔵しない。

長期間使わないとき

食品を取り出し、電源プラグを抜いて庫内を清掃し2~3日間扉を開け乾燥させる。

保冷枕など市販の寒冷剤を冷蔵庫に入れるとき

袋の破れに注意する。破れて硝安、尿素などの中身が漏れると、錆や故障の原因になります。

庫内灯について

- 冷蔵室扉を5分以上開放すると、庫内灯は自動的に消灯します。
- 庫内灯を交換するときは、お買い上げの販売店、または修理相談窓口へ、ご連絡ください。

⚠️ 注意

圧縮機に手をふれない。熱くなるので、やけどの恐れがあります。

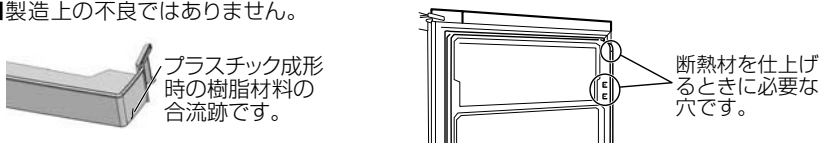
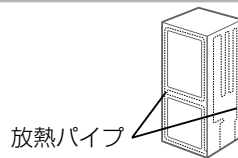
故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう1度確認してください。

状況	調べる 処置方法
全く冷えない	<ul style="list-style-type: none"> ■電源プラグがコンセントから抜けていませんか? 確実に差し込む。 ■ブレーカーや電源ヒューズが切れていませんか? 扉を開け、庫内灯が点くか確認する。 ■停電ではありませんか?
冷えが弱い	<ul style="list-style-type: none"> ■温度調節が「弱」のままではありませんか? 「中~強」にする。 ■食品の詰め過ぎや熱いものが入っていませんか? 熱いものは冷ましてから入れる。 ■ひんぱんに扉を開けたり、食品の袋などがはさまり扉にすき間ができていませんか? 扉を確実に閉める。 ■直射日光が当たったり、そばにコンロやガスレンジがありませんか? 熱源から離して設置する。 ■周囲の風通しが悪くはありませんか? すき間を開け、風通しをよくする。
冷蔵室の食品が凍る	<ul style="list-style-type: none"> ■温度調節が「強」のままではありませんか? 「中~弱」にする。 ■周囲の温度が5℃以下ではありませんか? 「中~弱」にする。 ■水気が多い食品をフリーケースや棚の奥(冷気の吹出口付近)に入れていませんか? 棚の手前に入れる。
庫内のおいが気になる	<ul style="list-style-type: none"> ■冷気の吹出口や吸込口がふさがっていませんか? ふさがらない。 ■においの強い食品をラップをしないで入れていませんか? ラップをする。

故障かな?と思ったら

これは故障ではありません

状況	理由
プラスチック部品にスジがある、扉内側に穴がある	<p>■製造上の不良ではありません。</p>  <p>プラスチック成形時の樹脂材料の合流跡です。</p> <p>断熱材を仕上げるときに必要な穴です。</p>
冷蔵庫の外側や扉パッキングに露が付く	<p>■梅雨など湿度の高いときに付くことがあります。これは、冷水を入れたコップの外側に水滴が付くのと一緒です。露は乾いた布でふき取ってください。</p>
冷蔵庫の前面、側面が熱く感じる	<p>■夏場や運転の初めには特に熱く感じます。これは冷蔵庫への露付きを防止するパイプや放熱パイプが組み込まれているからです。庫内食品には影響ありません。</p>  <p>放熱パイプ</p>

次のような音は異常ではありません (音が大きい・変わった音がする)

庫内・側面付近から

「ビシッ・バンッ、パキパキ」
(バン、ポコン、カチカチ)

⇒ 庫内のプラスチック部品が膨張や収縮をして発生する音です。

背面・庫内付近から

「チョロチョロ、ポコポコ」
(キュークキューツ、コンコン、コトコト)

⇒ 冷蔵庫を冷やすための冷媒(ガス)が冷却回路内を流れる音です。運転停止中も発生することがあります。

下の方から

「ブーン、ビーン、ピチャ・ピチャ」 ⇒ 圧縮機の運転音です。

■その他、音が気になる時の確認と処置方法■

確認	処置方法
■床が弱く、ゆがんでいませんか？	冷蔵庫の下に丈夫な板を敷く。
■据え付けが悪く、ガタついていませんか？	3 ページを参照し、調節脚で調節する。
■壁にふれていませんか？	本体を壁から離す。
■後ろ側にある蒸発皿が、はずれていませんか？	蒸発皿を確実に取り付ける。(8 ページ参照)
■周囲に物が落ちて、ビビリ音を出していませんか？	取り除く。

以上のことを調べて、それでも具合が悪いときは、お買い上げの販売店または当社「お客さま相談窓口」(裏表紙)にご相談ください。

仕様

種	類	冷凍冷蔵庫
品	番	AQR-17E8
定 格 全 内 容 積 内容積	全 内 容 積	168L
	冷 蔵 室	110L < 90L
		フリーケース
	冷凍室(フォースター)	58L < 40L
外 形 寸 法	幅 525mm × 奥行 593mm × 高さ 1215mm	
定 格 電 圧 ・ 周 波 数	100V・50 / 60Hz	
電 動 機 の 定 格 消 費 電 力	60 / 60W	
電 熱 装 置 の 定 格 消 費 電 力	75 / 75W	
消 費 電 力 量	冷蔵庫扉内側の品質表示ラベルに表示	
冷 凍 室 の 性 能	*** (フォースター)	
質	量	37kg

※定格内容積について

- ・ 定格内容積は、日本工業規格 (JIS C 9801-3:2015) に基づき、庫内の温度制御に必要なでない庫内部品 (棚やケース等) を外した状態で算出したものです。
- ・ () は、消費電力量試験での各室の目標温度の区分を示します。区分は日本工業規格 (JIS C 9801-1:2015 および 9801-3:2015) に定められています。
- ・ < > 内は「食品収納スペース (貯蔵室毎の実際に食品を収納することが出来る空間の容積) の目安」です。食品収納スペースの目安は、日本工業規格 (JIS C 9801-3:2015) に基づき、5 ページ (冷蔵室) 6 ページ (冷凍室) のように部品を配置して算出しています。

※製品改良のため、仕様が変わることがあります。ご了承ください。

※本品は、日本国内家庭用の製品です。他用途には使用しないでください。また、国外での使用はできません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)

故障かな?と思ったら/仕様

9

仕様

付属品

冷蔵室	ガラストレイ	3
	フリーケース	1
	フリーポケット	1
	ボトルポケット	1
	小物ケース	1
冷凍室	卵皿	1
	バスケット	1
	冷凍ケース	1
	製氷皿	1
	蒸発皿	1

自動霜取り

霜取りの操作は不要です。

- 霜取り水は蒸発皿に溜めて、蒸発させます。
- 霜取り時も食品を取り出す必要はありません。
- 霜取りタイプ：可変式
霜取り間隔（周囲温度32℃の場合）
最長22時間／最短10時間



この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質^[注1]を含有していません^[注2]。

(JIS C 0950 の電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法に従って表示しております)

【注1】「鉛及びその化合物」、「水銀及びその化合物」、「カドミウム及びその化合物」、「六価クロム化合物」、「ポリブロモビフェニル」および「ポリブロモジフェニルエーテル」の6種類の化学物質

【注2】対象の化学物質の含有率が基準値以下であることを意味します。また、除外項目は対象としておりません。

<https://aqua-has.com/about/j-moss/>

保証とアフターサービス

使用中に異常が生じたときは、安全のため電源プラグを抜き
お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

知らせていただきたいこと

- ①故障の状況（できるだけ詳しく）
 - ②品番
 - ③製造番号
 - ④お買い上げ年月日
 - ⑤お名前・おところ・電話番号
 - ⑥訪問日
- 保証書に記入してあります。

保証書（別添付）

- この商品には保証書が付いています。
- 販売店が所定事項を記入してお渡しますから、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- なお、食品の補償など、製品修理以外の責はご容赦ください。

保証期間中の修理は

- 修理の際には、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従い販売店が修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この冷蔵庫の補修用性能部品を製造打切後、9年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスでお困りの場合

- 修理のご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。また、転居や贈答品などでお困りの場合は、当社「お客さま相談窓口」（裏表紙）にお問い合わせください。

保証期間

- お買い上げ日から1年間です。
ただし、冷媒循環回路（圧縮機・凝縮器・冷却器・毛細管・配管）冷気循環用ファン及びファンモーターは5年間です。



保証期間が過ぎている時の修理は

- お買い上げの販売店にご相談ください。
修理をすれば使用できる場合は、お客さまのご希望により有料修理いたします。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げの販売店へ…


家電商品の修理のご依頼やご相談、および部品の購入は、お買い上げの販売店へお申し出ください。転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談		〈 アクア 株式会社 〉	
受付時間：(365日) 9:00~18:30			
総合相談窓口	固定電話	 0120-880-292	
	携帯電話・PHS	 0570-040-292 (有料)	
	FAX	 0570-013-790 (有料)	

家電商品の修理サービスについてのご相談		〈 アクア 株式会社 〉	
受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:30 土曜・日曜・祝日 9:00～17:30			
修理相談窓口	固定電話	 0120-778-292	
	携帯電話・PHS	 0570-030-292 (有料)	

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて	
<p>お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただきます。</p> <p><利用目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ● お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。 <p><業務委託の場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。 <p>個人情報のお取り扱いについての詳細は、当社ホームページをご覧ください。 https://aqua-has.com/privacy/</p>	

廃棄時にご注意願います	
<p>2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引渡すことが求められています。</p>	

愛情点検 長年ご使用の冷蔵庫の点検を！			
	<p>このような症状はありませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ■電源コード、プラグが異常に熱い。 ■電源コードに深い傷や変形がある。 ■焦げくさいにおいがする。 ■冷蔵庫床面にいつも水が溜まっている。 ■ビリビリと電気を感ずる。 ■その他の異常や故障がある。 	➔	<p>使用を中止してください</p> <p>故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。</p>

お客さまメモ		購入年月日、購入店名を記入してください。サービスを依頼されるときに便利です。	
品番		購入店名	
購入年月日	年 月 日	TEL ()	—

アクア 株式会社

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番12号